



高齢者支援の現状について

国の総人口における18%が75歳以上という超高齢社会。社会保障体制の見直し、介護人材の確保が急務とされているが。

問 町の高齢者と後期高齢者の状況は。

健康福祉課長 65歳以上は2,950人で、高齢化率は37.5%です。75歳以上は1,498人で、75歳以上の高齢化率は19%です。(令和7年4月1日現在)

問 生活・行動支援が重要であるが。

健康福祉課長 在宅福祉サービスにおいて、ボランティア

の協力会員による外出時の送迎やごみ捨て、話し相手などを行っています。「ごかりん号」の日中ルートはオンデマンド方式になりましたが、確実に利用が定着しつつあります。高齢者がより安心して便利に利用できる公共交通システムの構築に努めていきます。

問 介護保険制度の利用状況は。

健康福祉課長 412名が要支援・要介護の認定を受け、うち318名がサービスを利用しています。

問 「わたしの未来ノート」(エンディングノート)を配布した意図は。

健康福祉課長 もしものときのご家族の負担軽減と本人の意思を的確に伝え、望みどおりに物事が進められるように配布しました。最後まで自分らしい人生設計を考えるきっかけとして活用していただきたいと思っています。



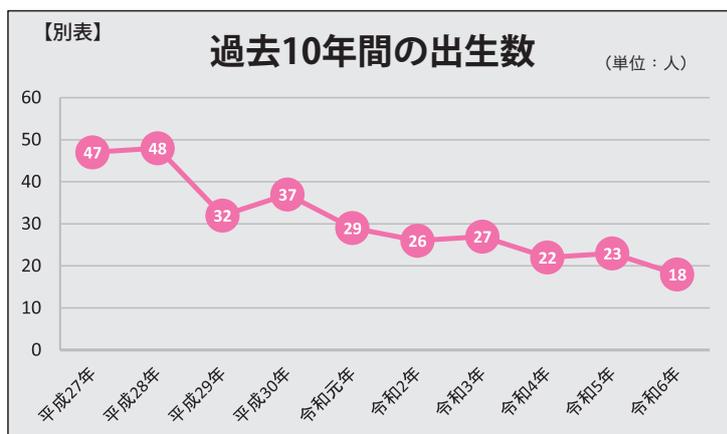
イラスト提供：伊藤議員

人口増対策について

深刻さを増す人口減少。「少子化」を克服することは日本社会を持続可能にする基本ではないか。

問 町の出生数の推移は。

町民税務課長 別表のとおり。



問 「孫育て」への支援は。

こども未来課長 共働き世帯が多くなり、祖父母が孫の世話をしているケースが増えています。一方で、育児方針の違いなどによる課題もあることか

ら、現在の孫育ての知識が伝えられるよう、支援方法について検討してまいります。



イラスト提供：伊藤議員

問 結婚・出産・子育て支援の相談窓口創設についての考えを問う。

こども未来課長 結婚支援については、いばらき出会いサポートセンターと連携した相談会の開催や、近隣の埼玉県市町と構成する3市3町広域連携結婚支援協議会の婚活イベントなどを通じ支援を行っています。今後も町独自の相談窓口の設置は行わず、引き続き、多様な支援を積極的に実施してまいります。また、出産・子育て相談については、こども家庭センターや児童館において随時受付けており、積極的な情報発信を行い利用を促していきたいと考えています。